

令和4年度 第2回萩市立図書館協議会 議事録

令和5年2月1日（火）

14:00～15:35

会場 萩市立萩図書館

出席者

協議会委員 津田和夫委員・大島昌子委員・的村るみ委員
(9名) 杉山芳文委員・村田麻美委員・岡崎祐介委員
柳林優子委員・平田美代子委員・杉山恵子委員

教 育 長 池田教育長

事 務 局 教育委員会事務局 井本局長

教育政策課 河村課長・青木課長補佐

学校教育課 園木

萩図書館 江山館長・森岡係長・福永主任

須佐図書館 宮内館長・村木主任

明木図書館 横山館長・河口主任主事

NPO 萩みんなの図書館 藤山理事長・大草副理事長

伊藤事務局長・山崎理事

1. 開会のことば（宮内館長）

お忙しい中、お集まりいただき感謝する。今年度2回目の図書館協議会で、1つの議事と3つの報告事項がある。本日の会が円滑に進むよう忌憚のない意見をお願いする。

2. 教育長あいさつ

お忙しい中、ご出席いただき感謝する。また、平素から萩市立図書館の運営にご支援、ご協力いただき心から感謝する。今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止に留意しながら、社会経済活動を行うという市の方針に沿って図書館の運営を行い、ほぼ正常に戻りつつある。各図書館の行事は参加人数を限定しながら開催している。本日の議事としているが、「萩市子ども読書活動推進計画」を「萩市ひとづくり推進計画」に編入し、「萩市ひとづくり推進計画」を改定することになった。前回の協議会でいただいた意見を参考に改定案を作成し、先般、パブリックコメントの募集を行った。このことについては、のちほど担当から説明する。

子供読書活動の現状について触れると、毎年行われている小6、中3対象の全国学力状況調査の集計結果に課題がみられた。読書習慣に関する質問で、小学6年生で読書が好きな割合と1日10分以上読書をするという割合が萩市内では、全国平均及び山口県平均を下回っていた。前年も同じ傾向があり、図書館だけでなく、学校関係者が連携し、具体的な対策を講じる必要があると考える。萩図書館はNPO 萩みんなの図書館との協働で、学校や児童クラブ、保育園、幼稚園等と連携した子どもの読書活動推進のほか、映画上映会など新たな取り組みも行っている。須佐図書館、明木図書館においては地域に根差した特色ある行事を行っている。本日は、議事はもと

より図書館の市民サービスの向上及び読書が好きな子供を育てるため、活発な意見を願います。

3. 会長あいさつ

今回は、「萩市ひとつづくり推進計画」の改定案についてきめ細かい意見をいただき感謝する。本日も忌憚のない意見を活発に発言していただきたい。コロナ禍や人口減少等社会的な影響下においても、萩図書館は比較的日常を保ち、市民のための知的な憩いの場、学習の場として機能を果たしている。教育長のお話で子どもの読書意欲が足りないということだったが、学習以外の面では図書館を利用していると思う。学習に役立つ読書に導くようなことを皆で考えていきたい。最近、萩図書館で開催されている映画上映会へ楽しんで参加している。いろいろな層の参加者を集められ、良い行事だと思う。令和4年度の図書館協議会は本日で終了だが、ひきつづき、皆様のご協力と見守りを願います。

森岡係長 規定により、議長は会長があたることになっている。大島会長に議長をお願いする。

4. 議事

議長 議事(1)「萩市ひとつづくり推進計画の改定」について、教育政策課から説明をお願いする。

青木課長補佐 「萩市ひとつづくり推進計画の改定」について説明

議長 議事(1)について、質問があれば願います。

委員 実績値より高い指標を設定されているが、②保育所・認定こども園等での読書活動の推進については、実績値より指標が低い。何か理由があるか。

江山館長 年々、園児、児童、生徒数が減っており、利用が伸び悩んでいる。最低限、現状を守りたいため高い指標にしていない。

委員 改定案の説明を聞き、内容を知れてよかった。

委員 指標に近い実績値になったらいいと思う。

委員 幼児期からの読書案内がとても重要。幼児期に読んでもらった経験が青少年期、成人期に繋がると思う。幼児期に積極的に読書案内に取り組むため、保育園などに協力してもらったらいいと思う。

江山館長 萩図書館では、今までは学校との連携を中心に出前講座を行っていたが、今年度は新たに幼児期にも力を入れ、保育園、幼稚園にも出前講座の要望があれば依頼をいただくよう呼びかけている。

委員 ③学校での読書活動の推進について、小学生は、読書が好きな割合、1日10分以上読書をする割合が低いが、中学生では割合が上がっている。中学校では何か取り組みをしているのか。

園木 中学校では学校と生徒自身が、より意識的に朝読の時間や読書週間に取り組んでいるためではないかと考えられる。小学校の発達段階で、家庭で保護者がしっかりと声をかけながら読書に働きかけていく必要性を感じる。

委員 ⑨読書活動ボランティアの活動支援について、可能であればボランティアに参加したい。読書時間に5分でもいいので、1冊の本を読み進めていくことが大事かと思う。

伊藤事務局長 さまざまなボランティア活動があり、参加申込みはいつでも受付けているので、ぜひ、ご参加いただきたい。

- 委員 今の幼児はテレビやアニメ、デジタル機器に時間を占領されており、親が読み聞かせをするチャンスがない。電子機器を使用して子供を惹きつける方法があればいいと思う。
- 委員 ⑥特集展示の充実とあるが、図書館職員が工夫して切り絵やポップなど展示されている。自分が子どもの頃は読み聞かせなどなかったように思うので、読み聞かせをしてもらえる今の子どもたちをうらやましく感じる。
- 江山館長 委員のご意見について、電子書籍には「動く絵本」がある。今の子どもたちは動画に惹きつけられるところがあるので、今後の動機づけとして電子書籍を読み、本に結び付ける手法もあると思う。子どもの読書啓発は、まずは家庭で行うことが1番で、図書館や学校から読書啓発する難しさを感じるが、図書館としてできることに取り組んでいきたい。
- 議長 最近、テレビで早読みについて知った。最近、感じたこと等自由に発言してほしい。
- 委員 スマホやゲーム、アニメなど子どもが興味を示すものがあふれているが、子どもは幼稚園で本を借り、嬉しそうに見せてくる。親が本を好きか、本の読み聞かせをできるか等関係してくると思うので、親に呼びかける場があるといい。
- 委員 研修で、スマホと子どもの関係について、子どもがスマホを使用する時間が長いこと、毎日2時間以上スマホを使用すると生活に支障をきたすことを聞いた。スマホが流行っている時代に読書することの難しさを感じる。子どもの頃、本を読むのは好きだった。子どもたちにそのような経験をさせられたらいいと思う。
- 委員 家族が子どもの幼児期に時間を作ってしっかり本を読んであげることができれば、小学校での読書につながると思う。
- 委員 身近な大人が楽しそうに本を読む姿を見せれば、子どもが真似するのではないか。大人にも本のよさを再認識してもらうことが大切だと思う。
- 委員 親が図書館を利用したり、本に興味を示したりすることが子どもに影響すると思う。
- 委員 子どもの頃、本は好きだったが、図書館にどのような本があるか知らなかった。図書館には本だけでなく、マンガ、DVDもあることを子どもたちに知ってもらい、図書館をどのように使うか体験させることが必要。日本の図書館数は年々増えているが、一館の来館者数は減っていると知った。図書館の楽しさを教えることが一つの手と思う。
- 委員 萩図書館は夜も開館している点が便利で、特集、おすすめなど展示が分かりやすい。PTA役員をしていた頃、PTA文庫として面白かった本を廊下に並べ、紹介していた。何か読書のきっかけになることがあればよいと思う。
- 委員 例えば、小学校に入ったら図書館カードを作るようにすると、親が図書館を利用しない家庭も子どもが利用できるのではないか。最初のきっかけとして、図書館カードを作るといいと思う。
- 議長 本を選びやすくするコーナー作り、図書館カードの作成、PTA文庫、ビブリオバトルなど、本に触れさせるきっかけとなる意見が挙がった。本に触れる機会が更に増えるよう、いろいろな方面から取り組むことが必要かと思う。
- 江山館長 貴重な意見に感謝する。「萩市ひとつくり推進計画の改定」について、この会をもって承認ということによろしいか。

<承認>

この計画に基づいて、来年度以降、読書推進活動を進めていく。

- 議長 いろいろな意見が出たので、今後の活動の参考にしてほしい。

5. 報告

- 議 長 報告(1)「萩市の司書補助員の活動について」、学校教育課から報告をお願いします。
- 園 木 「萩市の司書補助員の活動について」報告
- 議 長 報告(2)「萩図書館の出前講座等について」、NPO 萩みんなの図書館から報告をお願いします。
- 藤山理事長 萩図書館では、子ども読書活動を学校や地域と連携して行っており、その一環として、出前講座を2019年から実施している。本日は、出前講座の説明と実演をご覧いただきたい。
- 山崎理事 「萩図書館の出前講座等について」報告及びブックトークの実演
- 議 長 報告(3)「学校・司書補助員・図書館の連絡会議について」、報告をお願いします。
- 森岡係長 「学校・司書補助員・図書館の連絡会議について」報告
- 議 長 3点の報告について質問はあるか。

<質問なし>

6. その他

- 議 長 事務局からお知らせがあれば、お願いします。
- 江山館長 活発なご意見に感謝する。委員の皆様の任期は2年間で、今年度末で終了となる。2年にわたり、さまざまなご意見をいただいたことに感謝する。いただいたご意見をもとに更なる市民サービスの向上に努めていくので、今後ともよろしくお願いします。

7. 閉会のことば(横山館長)

長時間にわたる協議に感謝する。いろいろなご意見をいただくことができ、良い協議会だった。本日の議事で説明した「萩市ひとづくり推進計画の改定」については、いろいろな指標を設定しているが、指標を達成すればよいということではなく、過程や取組みが大切。各図書館が地域の特色等を活かしてさまざまな取組みをしているので、引き続き、ご支援、ご協力をお願いします。

以上をもって、令和4年度第2回萩市立図書館協議会を閉会する。